



そのさき！！ とのさき通信！！

大好き
みやぎ

≪ 討議資料 ≫

発行 // 宮城県議会議員 **とのさき 浩子** (泉区選出) 〒981-3203 仙台市泉区高森 7-33-7

<http://daisukimiyagi.com>

hiroko4783@yahoo.co.jp

とのさき浩子

Q 検索



皆様如何お過ごしでしょうか？ 泉ヶ岳の冠雪のニュースも
まもなく聞えてきます。宮城県議会11月議会も12月中旬まで
続きます。国内外コロナウイルスも含め、何かと気忙しい時期ですが
改めて気持ちを上げて活動していきたいです。
どうも皆様方におかれましては、お体に気をつけてお過ごし下さい。
何かあればお気軽に お知らせ下さい。

宮城県議会議員 **外崎 浩子**



令和 4 年 第 3 8 5 回 宮 城 県 議 会 定 例 会

7 月 15 日におきた大雨被害や、燃料高騰、物価高騰などに対する支援費などが中心。コロナ対策費も引き続き、計上。

以下は主な項目です。

(単位 ; 千円)

(新型コロナウイルス感染症対策)

検 査 体 制 構 築 費
宿泊療養施設等確保費災害援護費
I C T 教 育 環 境 整 備 促 進 費

検査キットの配布、陽性者の登録体制の整備	897,580
軽症者用ホテルの確保、自宅療養者のフォローアップ	15,594,275
県立学校の生徒用タブレット端末の整備	1,154,000

(原油価格・物価高騰への対応)

高 齢 者 施 設 原 油 価 格 高 騰 対 策 費
ものづくり企業省エネルギー設備等導入支援費
畜 産 生 産 資 材 価 格 高 騰 対 策 費

特別養護老人ホームなどの冷暖房費等のかかり増しへの支援	318,284
中小企業などの省エネやエネルギーコスト削減への支援	434,000
畜産農家の配合飼料購入費や酪農家の光熱動力費への支援	916,600

(大雨被害への対応)

農 作 物 浸 冠 水 害 緊 急 対 策 費
緊 急 粗 飼 料 確 保 対 策 費
河 川 等 災 害 復 旧 費
河 川 調 査 費

被災農家の次期作付用生産資材購入費への支援	147,000
被災畜産農家の代替粗飼料等購入費への支援	14,000
道路・河川等の公共土木施設の復旧	13,278,000
流域一帯で水害に備える形での災害復旧に向けた計画づくり	100,000

下記の意見書を県議会で可決をし、国に送付いたしました

・ 優生保護法問題の早期全面解決を求める意見書 ・ 災害救助法における福祉の位置付けの明確化を求める意見書 。 他

再生可能エネルギーについて

9月議会本会議において、村井宮城県知事は、
森林に再生可能エネルギーの発電設備を新設する事業者への
課税を 2024 年度から新たに導入したいと表明。

答弁によると「新たな森林を開発して再エネ設備を設置する
事業者」に課税することにより、経済的な負担が重くなる状況
をつくりだすことで森林以外の設置に誘導する」とのこと。

再生可能エネルギーの発電設備を新設する事業者へ課税を

し、新たな設備投資にたいして

ブレーキをかける目的もある。県は、

2024 年度の導入を目指し、

新たな課税についての条例案を

2023 年の県議会に提案する方針。



第 22 回 都 道 府 県 議 会 議 員 研 究 交 流 大 会

11 月 10 日東京にて行われました「第 22 回都道府県議会議員研究交流大会」にてパネリストとして登壇、宮城県の子ども、子育て支援の状況などについて発表、出席の全国の議員の方々との意見交換をしてみました。

宮城県の合計特殊出生率は最下位の東京に次ぐ 1.3 0。大学や専門学校を卒業すると宮城を離れてしまう方への魅力的な環境づくり。結婚を希望している方々への AI を活用したマッチングシステム、みやマリの紹介。

さらには子育てをしやすい地域コミュニティづくり。国で保険適用になった不妊治療の地域での補助金の加算など様々な提言を行いました。さらには宮城県においては東日本大震災で被災した当時の子供達の

フォローなど、他の地域とは違う子ども、子育て支援のあり方についても発表をしてみました。

12 月中旬より YouTube にて配信予定です。



最近の公務・活動

宮城県議会文教警察委員会委員として、宮城県美術館での「ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展」の開幕式に出席。その中でも最も注目の作品は、ヨハネス・フェルメールの《窓辺で手紙を読む女》は、近年の大規模な修復プロジェクトにより、背景の壁から、画家の死後に塗りつぶされていたキューピッドの画中画が姿を現しました。その他にもオランダ絵画の貴重な品々はどれも必見です。

是非この機会にご覧ください。

宮城県美術館 展示期間 10月8日～11月27日



みんなで減らそう「食品ロス」



まだ食べられるのに、捨ててしまう食べ物のことを「食品ロス」といいます。

食べ物を捨ててしまうのは、もったいないだけではなく、地球環境にも悪影響があります。食品ロスのおよそ半分は家庭から発生しています。消費者のちょっとした意識の変革によって、食品ロスは削減することができます。これからの未来に向けて、食品ロスを減らすための様々な取り組みが行われています。



スーパーやコンビニエンスストアでは消費・賞味期限が短い商品を手前に陳列しています購入してすぐに消費する食品は商品棚の手前にあるものから選ぶ「てまえどり」を呼び掛けています。消費者が手前から選ぶことで販売期限切れによる廃棄を減らすことが期待できます。



「賞味期限」は「おいしく食べることができるめやす」です。この賞味期限の意味を正しく消費者に伝えるため、消費者庁では令和2年度にコンテストを実施し、選ばれた愛称が「おいしいめやす」です。



「mottECO」は飲食店での食べ残しを自己責任で持ち帰ることを呼び掛けるフレーズです。「もっとエコ」「持って帰ろう」の2つの意味があり、環境省のコンテストで選ばれました。外食産業の食品ロスは事業系食品ロスの3割以上。まずは、店舗での「食べきり」、それでも残った場合は「mottECO」で食品ロス削減が期待されます。

計 報

7月6日突然凶弾に倒れ、非業の死を遂げられた安倍晋三元首相には心から哀悼の意をささげます。

安倍元首相の国葬に対する9月議会本会議一般質問において村井知事の国葬参列に対するコメントは以下の通りです。

一昨日おこなわれた安倍元首相の国葬に私も参列し、長きにわたり首相としての重責を担い我が国の内政外交の両面において多くの実績をあげられたご功績に対し、感謝の意をお伝えするとともに、被災者を代表する気持ちで哀悼の意を表してまいりました。

安倍元首相には、在任中、わが県にいく度となく足をお運びいただき、被災者の声に耳を傾けていただくとともに、全閣僚にたいしては全員が復興大臣であるとの思いで対応するよう指示をさせていただくなど、様々なご支援をいただきました。

医学部の新設や仙台空港の民営化など、復興の過程で実現した政策は数多くあり壊滅的な被害を受けたわが県の復旧・復興がここまですすんだのは、安倍元首相のリーダーシップによるものであると考えております。改めて、感謝を申し上げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご 報 告

昨年3月19日からお預かりしておりました宮城県議会 副議長職をこの度10月19日付けで辞し、11月1日より宮城県議会 自由民主党・県民会議の会長となりました。会派所属議員34名で構成する最大会派、県政史上はじめての女性会長でありますので、今後もしっかり務めを果たしてまいりたいと存じます。



外崎 浩子（とのさき ひろこ）プロフィール

昭和35年6月24日生。出身／大崎市三本木（旧志田郡三本木町）

平成17年10月仙台市泉区より宮城県議会議員初当選。現在4期目。第39代 宮城県議会 副議長。自由民主党・県民会議 会派会長、

文教警察委員会委員(令和4年11月改定予定)、医療福祉議員連盟 副会長、芸術文化振興議員連盟 会長、自由民主党宮城県支部連合会 女性局長。

